

ようこそ  
日本舞踊の  
豊かな世界へ



第66回

# 日本舞踊 協会公演

NIHONBUYO  
— Japanese Classical Dance —



令和7年

2月21日(金)・22日(土)

開演 21日 夜の部 16:00 ※ 開場:各部開演30分前  
22日 昼の部 11:30/夜の部 16:00

浅草公会堂 台東区浅草1-38-6  
☎ 03-3844-7491

都民芸術フェスティバル主催:東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団  
2025 都民芸術フェスティバル 参加公演

The NIHONBUYO Association

主催: 公益社団法人 日本舞踊協会

後援: NHK

# 日本舞踊協会公演

二月二十一日(金)

二月二十二日(土)

### 夜の部 午後四時開演

#### 一、長唄「雛鶴三番叟」

翁 中村梅彌  
千歳 若柳佑輝子  
三番叟 市川翠扇

#### 二、奏風楽「海と空」

振付 花柳龍三前  
作詞 清水以佐夫  
作曲 松原泰風  
花 若柳知香之祥  
柳 若柳竜公  
※録音音源にて上演

#### 三、清元「お染」

お染 久松藤間  
久松 西川扇重郎  
藤間 川柳翔中央  
扇重郎 扇重郎

#### 四、長唄「狸屋島」

振付 坂東以清情 坂東三信之輔  
作詞 杉昌郎  
作曲 七代目竹屋巳太郎  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳

#### 五、長唄「連獅子」

狂言師右近後に  
連獅子の精に  
狂言師左近後に  
仔獅子の精に  
若柳 泉 若柳 吉蔵  
勝見 嘉樹 若柳 嘉樹  
僧 温念 若柳 嘉樹  
僧 温念 若柳 嘉樹  
僧 温念 若柳 嘉樹

### 昼の部 午前十一時半開演

#### 一、義太夫「二人三番叟」

振付 二代花柳藤輔  
三番叟 花柳昌鳳生  
三番叟 花柳静久郎

#### 二、清元「田螺」

振付 市山松原  
作詞 上山龍輔  
作曲 清元梅吉  
藤 藤間仁鳳  
若柳 若柳杏子  
※録音音源にて上演

#### 三、長唄「俄獅子」

振付 西川扇与一  
芸者 芸者 芸者 芸者 芸者  
芸者 芸者 芸者 芸者 芸者  
芸者 芸者 芸者 芸者 芸者  
芸者 芸者 芸者 芸者 芸者  
芸者 芸者 芸者 芸者 芸者  
芸者 芸者 芸者 芸者 芸者  
芸者 芸者 芸者 芸者 芸者  
芸者 芸者 芸者 芸者 芸者  
芸者 芸者 芸者 芸者 芸者

#### 四、大和楽「河」

振付 藤間藤賀  
作詞 田中清造  
作曲 岸上きみ  
西川 扇左衛門  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳

#### 五、常磐津「鞆猿」

猿 女大名 藤間川 扇藏  
猿 女大名 藤間川 扇藏  
猿 女大名 藤間川 扇藏  
猿 女大名 藤間川 扇藏  
猿 女大名 藤間川 扇藏  
猿 女大名 藤間川 扇藏  
猿 女大名 藤間川 扇藏  
猿 女大名 藤間川 扇藏  
猿 女大名 藤間川 扇藏  
猿 女大名 藤間川 扇藏  
猿 女大名 藤間川 扇藏  
猿 女大名 藤間川 扇藏

### 夜の部 午後四時開演

#### 一、新邦楽「阿蘭陀万歳」

振付 二代花柳藤輔  
立案 堀地信世  
作曲 町田嘉章  
太夫 花柳九州光  
才藏 藤静寿  
※録音音源にて上演

#### 二、地歌「鼠の道行」

作舞 吉村謙郎  
はつか 吉村葉奈子  
子之助 井上葉奈子

#### 三、常磐津「双面」

法界坊の壺 野分姫の壺  
吉田松若  
お組 藤山松扇  
お賤 花柳蘭一

#### 四、長唄「旅」

振付 二代目西川雁部  
作詞 田中清造  
作曲 三世今藤長十郎  
榎 柳柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳  
花 花柳柳柳柳

#### 五、常磐津「勢獅子」

清三郎 若柳三郎  
清三郎 若柳三郎  
清三郎 若柳三郎  
清三郎 若柳三郎  
清三郎 若柳三郎  
清三郎 若柳三郎  
清三郎 若柳三郎  
清三郎 若柳三郎  
清三郎 若柳三郎  
清三郎 若柳三郎  
清三郎 若柳三郎  
清三郎 若柳三郎

人気・定評のある古典舞踊や近現代に創作された評価の高い作品、そして上方舞まで、日本舞踊ならではの多彩な魅力を楽しめる公演です。現在の日本舞踊界を代表する第一線の舞踊家が流派を超えて出演します。現代までいきいきと受け継がれてきた日本舞踊の「いまの姿」をぜひご覧ください。  
各部、古井戸秀夫氏(東京大学名誉教授)による見どころ解説がございます。

演奏 長唄/杵屋勝四郎・今藤長一郎(唄)、杵屋栄八郎(三味線) 清元/清元美寿太夫(浄瑠璃)、清元菊輔(三味線) 常磐津/常磐津一佐太夫(浄瑠璃)、常磐津左藏(三味線) 地歌/菊史雄司 大和楽/大和左京(唄)、大和櫻笙(三味線) 囃子/塚田新十郎 ほか

チケット料金 チケット発売：令和6年12月25日(水)10時より

8,000円(全席自由)

チケット取り扱い

■ヴォートルチケットセンター  
電話：03-5355-1280(オペレーター対応 平日10時～18時)

■チケットぴあ ※サブインレブン店内のマルチコピー機からもご購入いただけます  
インターネット予約 <https://t.pia.jp> (Pコード：530-952)

鑑賞サポート

- 字幕アプリあり(22日昼の部)
- 英語による演目解説パンフレットあり

各種割引 25歳以下割引・障害者割引

当日会場受付にてお一人様2,000円キャッシュバック  
※前売・当日売に関わらずキャッシュバックいたします。公演当日に限ります。  
各証明書を日本舞踊協会受付でご提示ください。